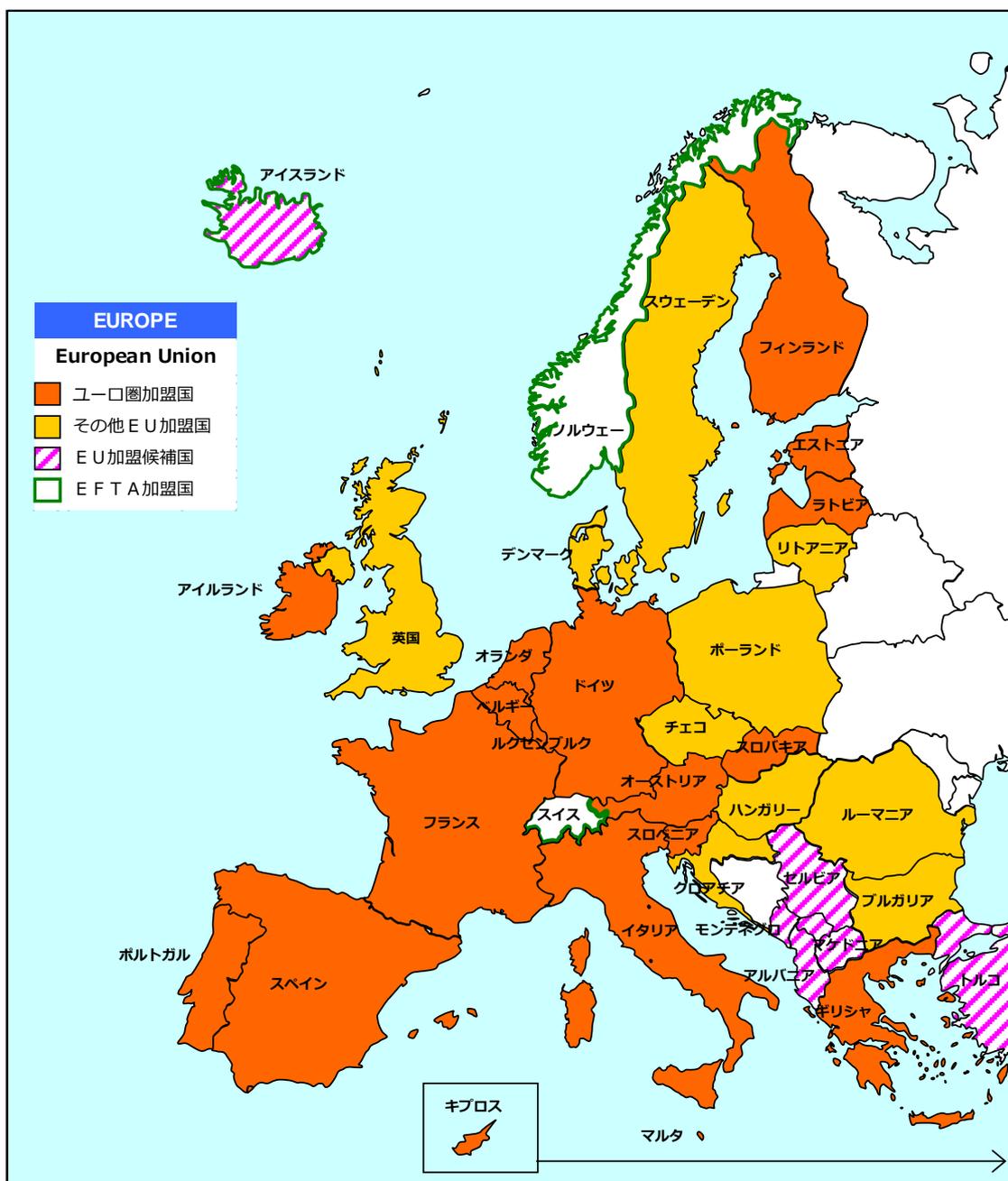


2014年7月23日 全13頁

欧州経済アップデート (2014.7)

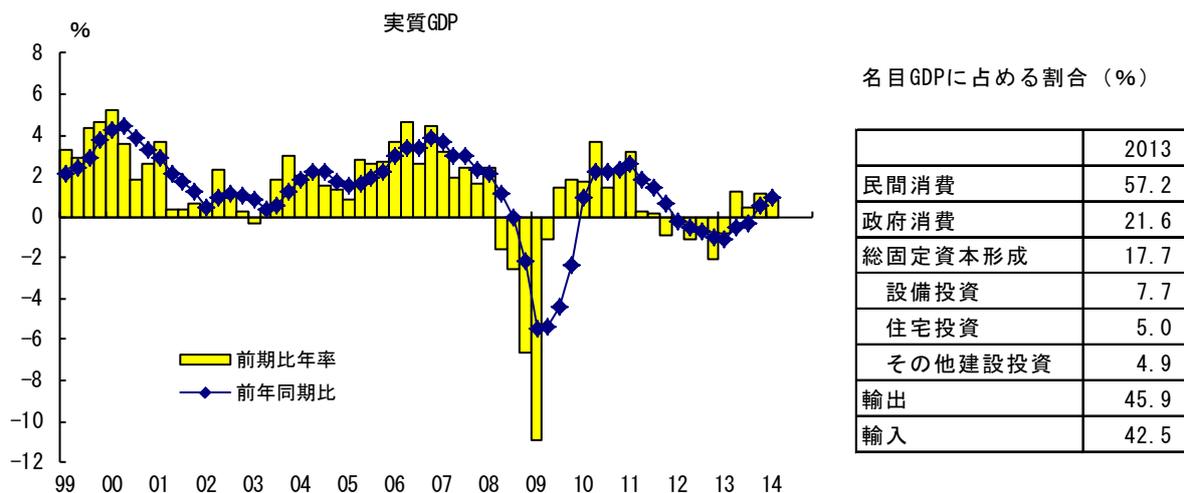
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q1のGDP成長率（3次推計）は前期比+0.2%と2次推計から変わらず。個人消費は同+0.1%から同+0.2%にわずかに上方修正
- 総固定資本形成は前期比+0.2%に下方修正。うち、住宅投資とその他建設投資は下方修正され、その他建設投資は前期比-0.1%と4四半期ぶりのマイナスに転落
- 一方、設備投資は同-0.4%から同-0.2%に上方修正され、減少幅が縮小した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.8	0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.3	0.2
個人消費	0.2	-0.5	0.3	-0.7	-0.2	-0.6	-0.1	-0.5	-0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
政府消費	-0.2	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.2	-0.3	0.1	0.2	0.0	0.3	-0.3	0.7
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.3	-0.7	-1.0	-1.8	-0.6	-1.4	-1.6	0.1	0.5	0.9	0.2
設備投資	2.1	0.2	0.4	-1.1	-0.9	-2.1	-0.5	-1.1	-0.9	0.6	0.1	2.0	-0.2
住宅投資	2.8	-1.0	-1.3	-0.5	-0.2	-1.4	-0.8	-1.8	-1.4	-0.4	1.0	-0.3	1.0
その他建設投資	2.6	-1.4	-0.5	-0.4	-2.0	-1.7	-0.5	-1.4	-2.8	0.0	0.5	0.5	-0.1
輸出	1.7	0.4	1.3	0.3	0.9	0.9	0.7	-0.6	-0.8	2.3	0.1	1.4	0.2
輸入	1.6	-0.1	0.5	-1.1	0.1	-0.1	0.2	-1.0	-0.8	1.5	1.1	0.6	0.8

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

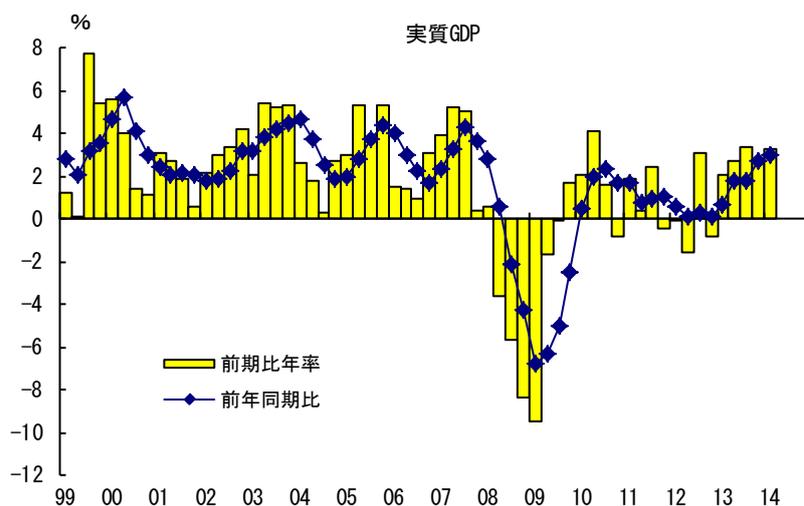
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.79	0.07	0.04	-0.23	-0.06	-0.27	-0.15	-0.53	-0.20	0.31	0.11	0.29	0.21
個人消費	0.09	-0.31	0.15	-0.38	-0.14	-0.31	-0.07	-0.30	-0.12	0.10	0.07	0.04	0.09
政府消費	-0.04	0.02	-0.06	0.04	-0.07	-0.04	-0.05	0.02	0.04	0.01	0.06	-0.07	0.14
総固定資本形成	0.46	-0.12	-0.07	-0.13	-0.19	-0.33	-0.10	-0.25	-0.29	0.03	0.08	0.17	0.03
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.09	-0.08	-0.18	-0.04	-0.09	-0.08	0.05	0.01	0.17	-0.01
住宅投資	0.14	-0.05	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.09	-0.07	-0.02	0.05	-0.02	0.05
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.02	-0.02	-0.10	-0.08	-0.03	-0.07	-0.13	0.00	0.02	0.02	0.00
在庫変動	0.22	0.26	-0.33	-0.32	-0.04	-0.03	-0.16	-0.13	0.20	-0.20	0.30	-0.20	0.21
輸出	0.73	0.16	0.57	0.12	0.40	0.40	0.34	-0.28	-0.35	1.03	0.06	0.63	0.08
輸入	-0.65	0.05	-0.21	0.45	-0.03	0.06	-0.09	0.41	0.31	-0.63	-0.45	-0.27	-0.34
純輸出	0.08	0.21	0.36	0.57	0.37	0.46	0.24	0.13	-0.04	0.40	-0.39	0.36	-0.26

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。このレポートに掲載されているデータは、14年1月以前も18か国ベース（Eurostatが18か国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 14年Q1のGDP成長率（3次推計）は前期比+0.8%と2次推計から変わらず
- 総固定資本形成は同+0.6%から同+2.4%に大きく上方修正。うち企業部門が同+2.7%から同+5.0%、民間住宅投資が同+2.1%から同+2.7%とそれぞれ上方修正された
- 輸出が上方修正され、純輸出の寄与度が拡大



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	66.4
政府消費	21.3
総固定資本形成	14.0
政府部門	2.0
企業部門	7.8
民間住宅投資	3.0
輸出	31.4
輸入	33.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.5	0.7	0.8	0.7	0.8
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	0.9	0.3	0.7	0.3	0.7
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	-0.1	0.0
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	1.0	3.2	2.4	1.3	2.4
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-6.4	8.0	1.5	-0.5	-7.8
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.8	3.0	1.5	5.0
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.2	7.8	0.9	1.3	2.7
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-0.6	2.4	-2.6	0.9	-0.1
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	-0.0	-2.3	2.4	1.1	-1.3	-1.2

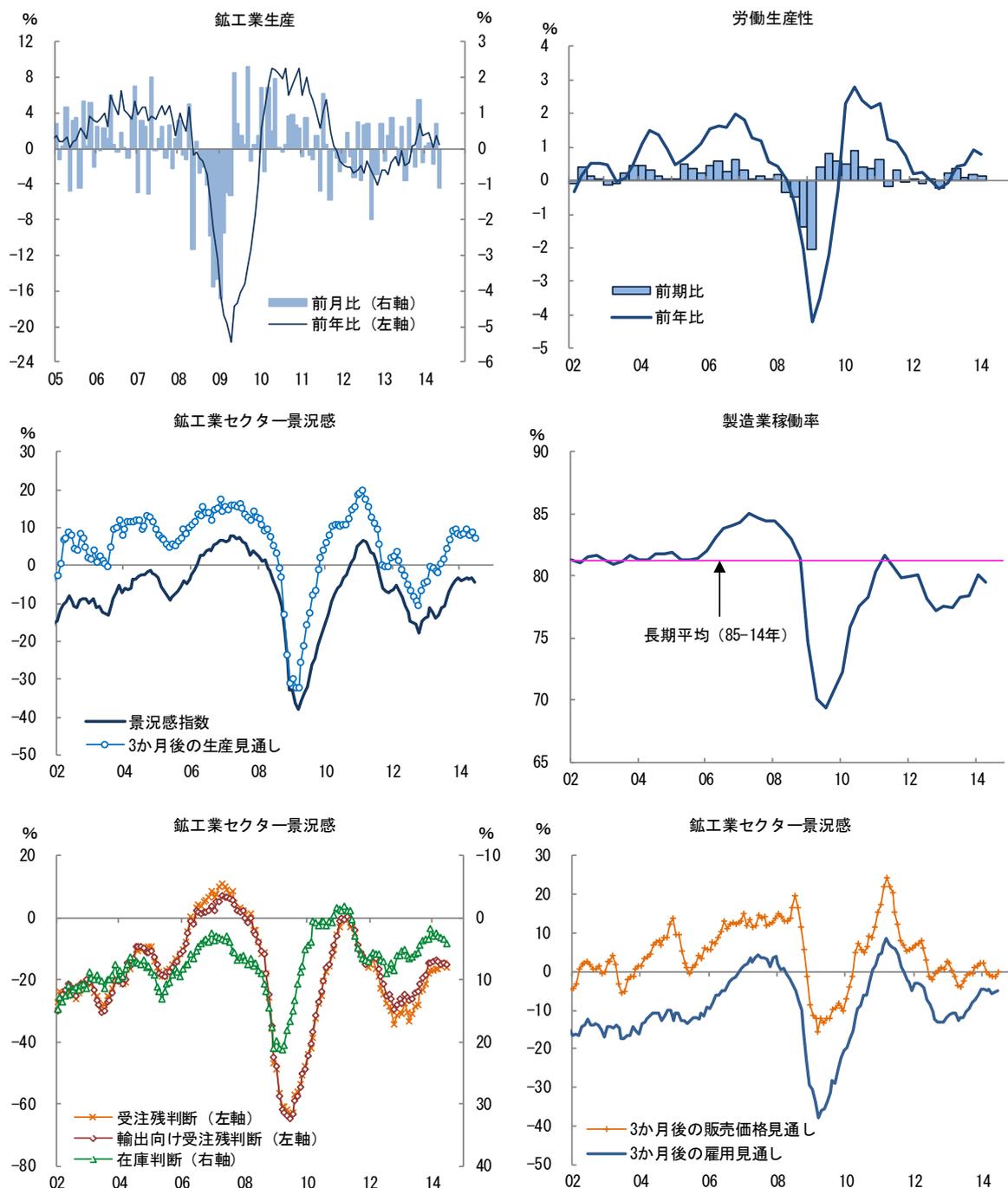
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.52	0.67	0.83	0.65	0.81
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.59	0.23	0.47	0.17	0.46
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.11	0.31	0.13	-0.02	-0.01
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.14	0.44	0.33	0.19	0.34
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.13	0.15	0.03	-0.01	-0.16
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.06	0.24	0.12	0.41
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.01	0.23	0.03	0.04	0.09
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.28	1.09	-0.39	-0.31
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.19	0.75	-0.82	0.26	-0.03
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.75	-0.76	-0.37	0.44	0.37
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.56	-0.01	-1.19	0.70	0.35

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 5月の鉱工業生産は、製造業生産の減少により、前月比-1.1%と12年9月以来のマイナス幅を記録。前年比は+0.5%。製造業（主に石油・石油製品）が大きく減速した
- 6月の鉱工業セクター景況感は前月比やや悪化。構成項目がすべて悪化した
- 一方、3か月後の販売価格及び雇用見通しは、前月比で改善

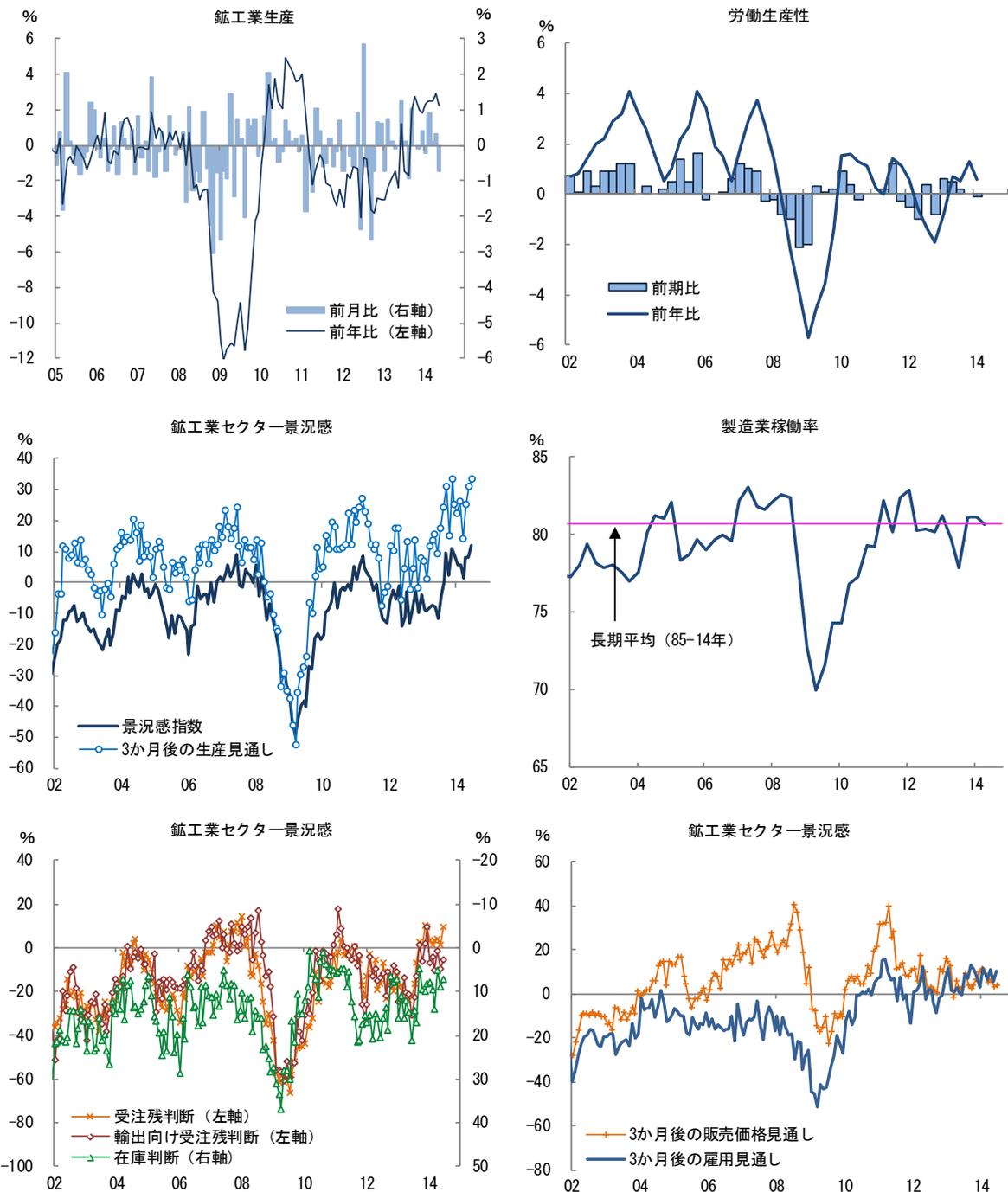


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 5月の鉱工業生産は前月比-0.7%。製造業生産が6か月ぶりにマイナスに転落した。前年比は、製造業生産の減速及び鉱業生産の前年割れにより、+2.2%に減速
- 6月の鉱工業セクター景況感は前月比改善。構成項目はすべて改善したが、なかでも受注残判断の改善が顕著
- 14年Q1の労働生産性は前期比-0.1%と12年Q4以来のマイナスを記録。前年比は+0.6%

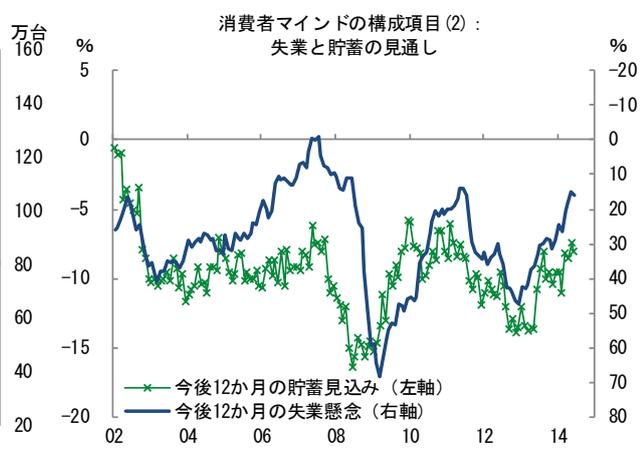
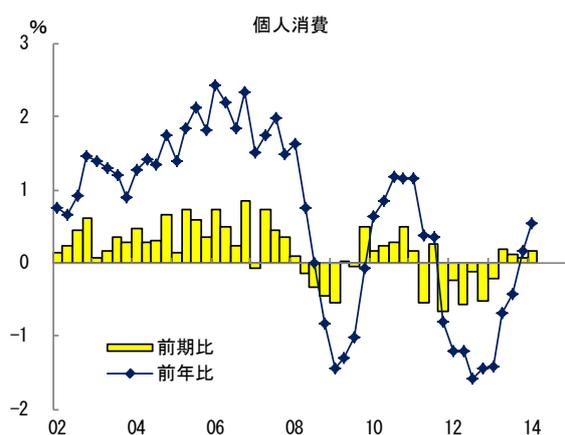


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 5月の小売売上高は前年比+0.7%と4月より減速。4月に10年7月以来の大幅増を記録した食品・飲料・たばこセクターの減速が主要因
- 6月の新車登録台数は84万9千台。前年比は+2.6%となり、7か月連続の増加
- 6月の消費者マインドは前月比でやや悪化するも、依然として高水準

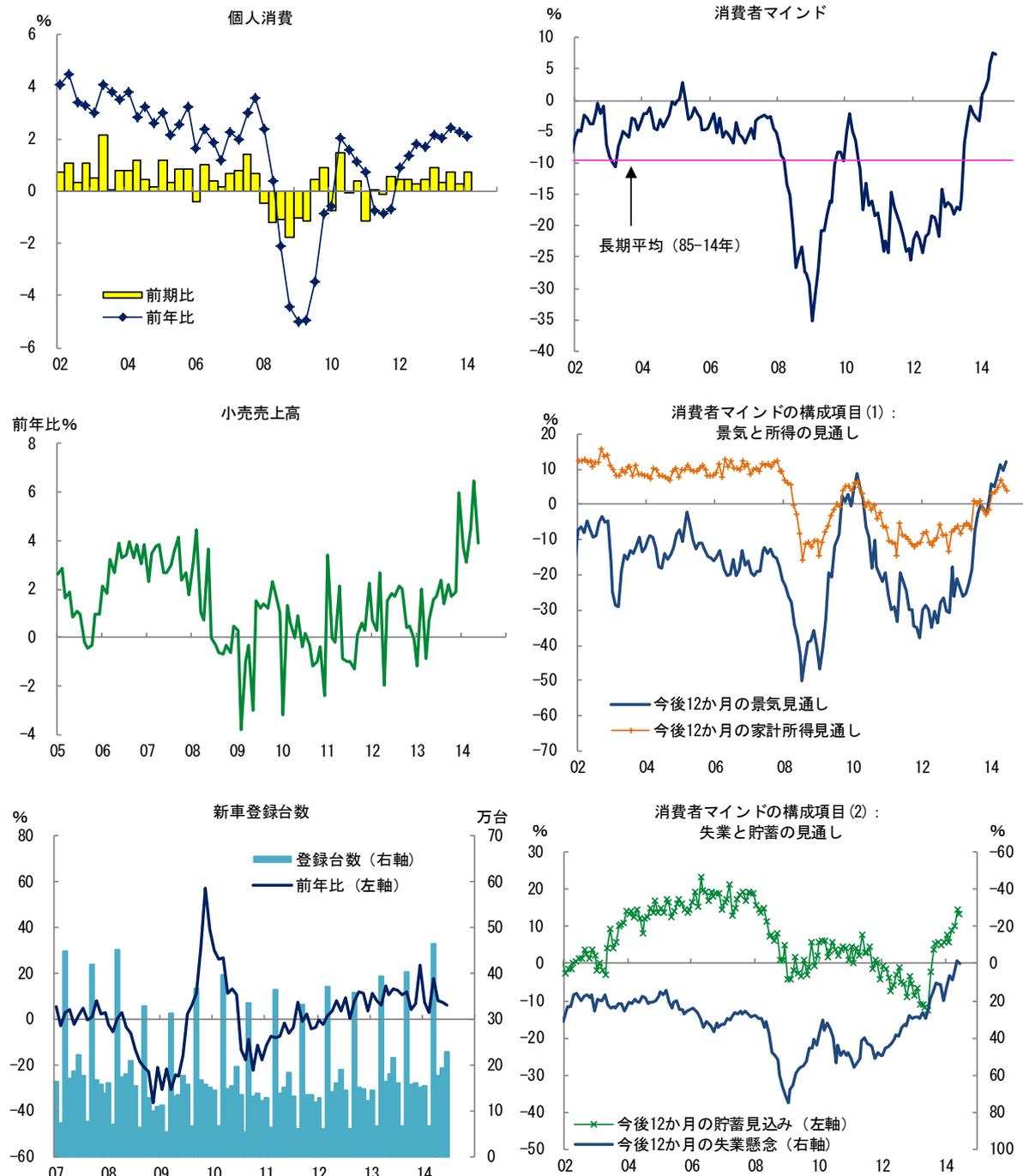


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 6月の新車登録台数は22万8千台。前年比は+6.2%と力強い伸びが続く
- 6月の消費者マインドは前月比でやや悪化するも、高水準を維持
- 構成項目を見ると、今後12か月の景気見通しは改善。一方、今後12か月の家計所得見通し、貯蓄見込み、そして失業懸念は前月比で悪化

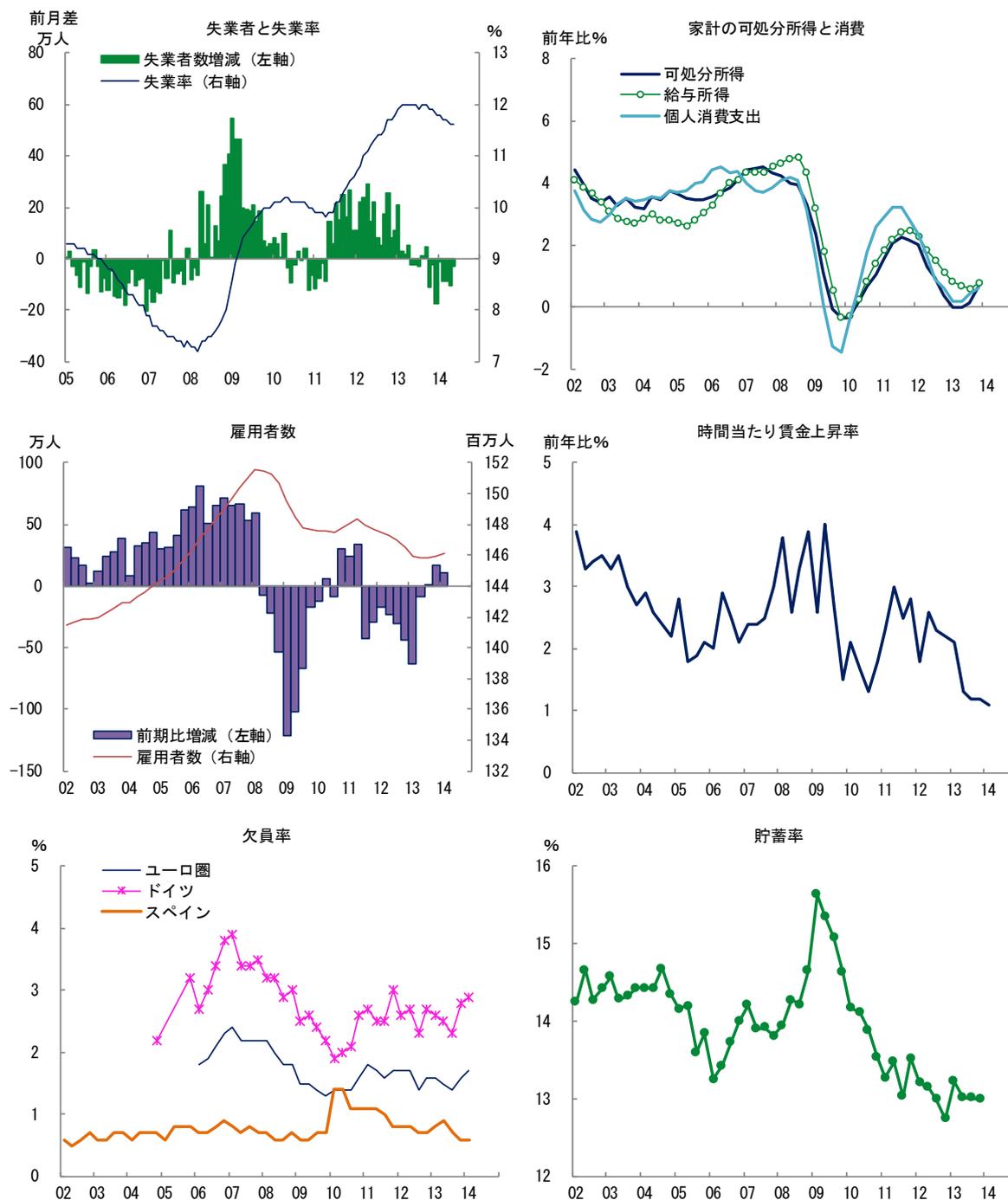


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 5月の失業率は11.6%と低下傾向が続く。失業者数は、前月比-2万8千人と13年10月以降8か月連続の減少
- 国別で見ると、失業者数はスペイン、ポルトガル、オランダでの減少が顕著。また、ドイツでの減少も続く
- 一方、フランスとイタリアでは、それぞれ6か月ぶり、4か月ぶりの増加に転じた

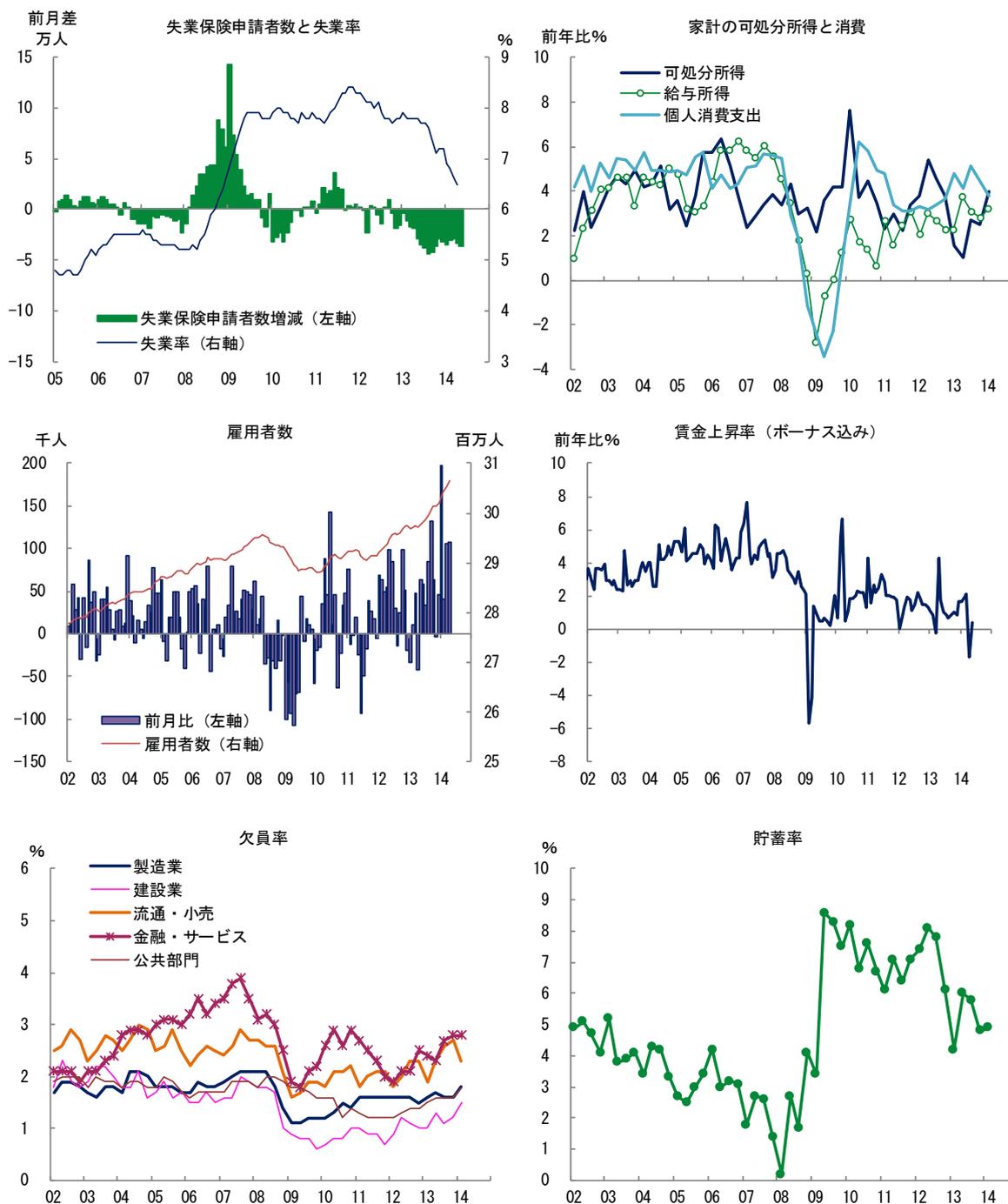


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 3-5月の失業率は6.5%と08年10-12月の水準まで更に低下。雇用者数は2-4月比10万8千人増の3,064万人となり、再び統計開始以来最多を更新
- 5月の賃金上昇率は前年比+0.4%。前年割れは脱したが、低水準の伸びにとどまった
- 14年Q1の可処分所得は前年比+4.0%と大きく加速するも、個人消費支出は同+3.8%と2四半期連続の減速。貯蓄率は4.9%と13年Q4とほぼ変わらず

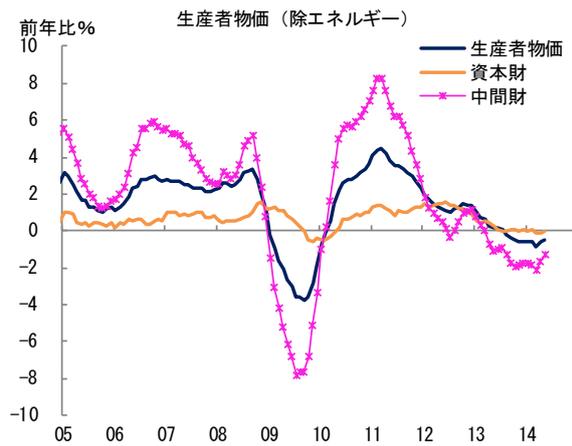


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

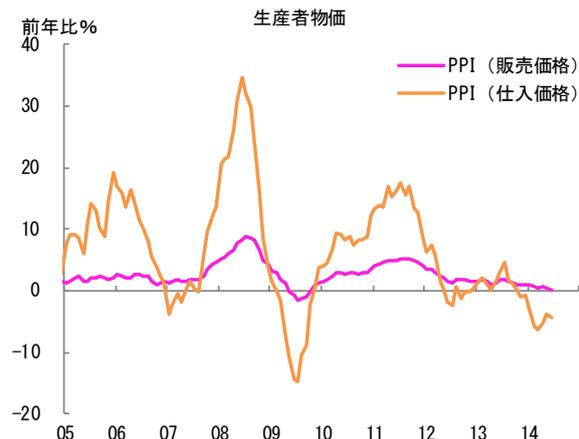
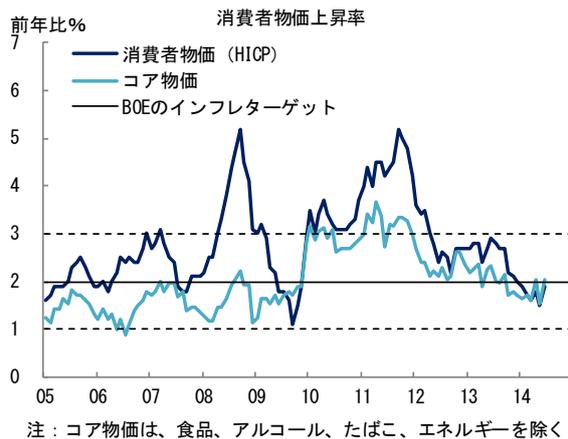
- 6月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.5%と5月と変わらず。うち、財価格は同一0.1%と09年11月以来のマイナスを記録
- 5月の生産者物価は前年比-0.5%と前年割れ継続。中間財物価は2か月連続で下落幅縮小
- 6月の原油価格（北海ブレント）は前月比で上昇。ユーロの名目実効為替レートは3か月連続の前月比下落



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

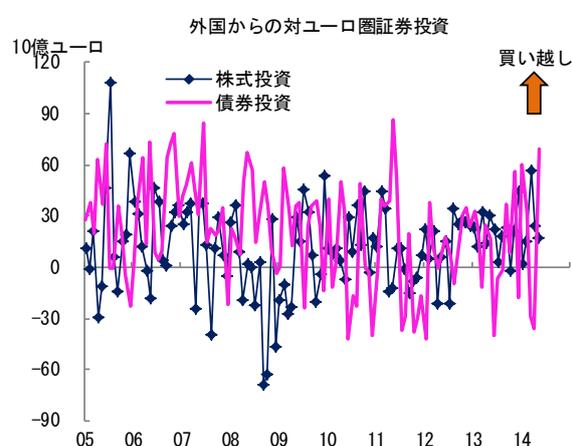
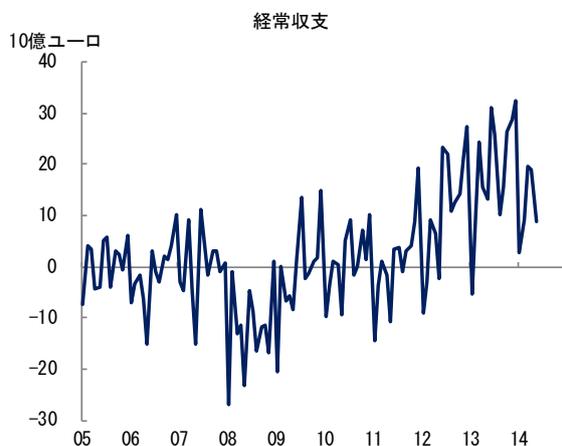
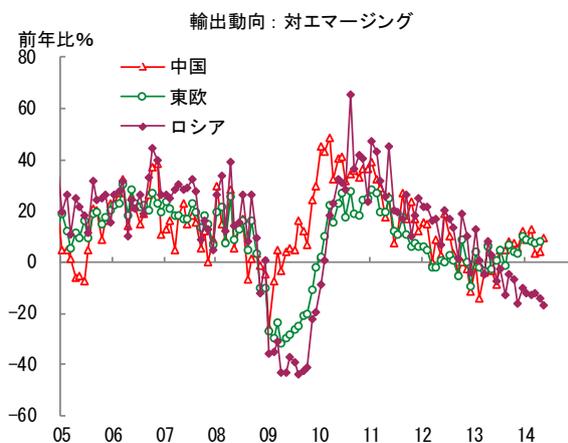
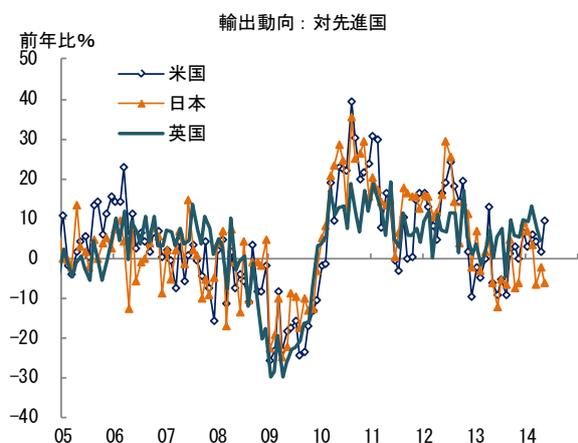
- 6月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.9%と5か月ぶりにインフレターゲット近辺まで上昇。服飾品の価格上昇が大きく寄与。コア物価も大きく加速した
- 6月の生産者物価上昇率は、石油価格の下落により販売価格は前年比+0.2%に減速。仕入価格は同-4.4%と前年割れ継続。国産食品及び輸入化学材料のマイナス寄与が大きい
- 5月の輸入物価上昇率は前年比-4.3%。ポンドの名目実効為替レートは上昇が続く



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

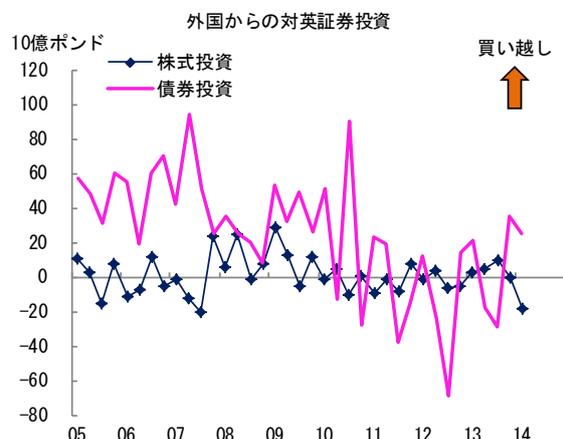
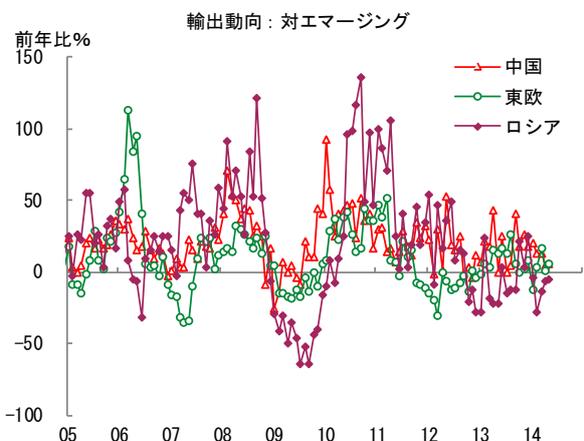
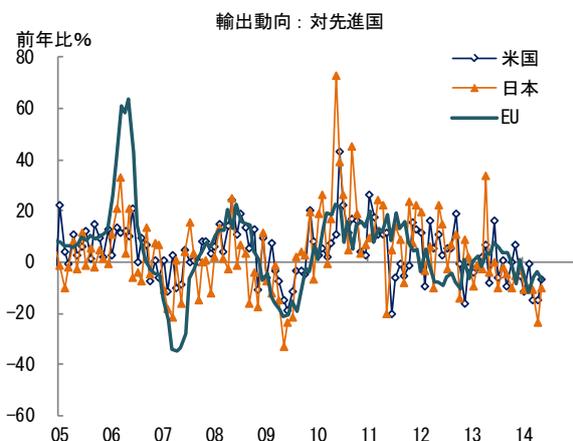
- 5月の輸出は前年比+0.2%と3か月ぶりのプラス成長。工業製品（特に化学）の増加が大きく貢献。輸入は、天然資源の減少幅が縮小し、同-0.3%となった
- 国別輸出動向をみると、米国及び中国向けの増加基調は継続。一方、日本及びロシア向けは前年割れが続く。6月の輸出向け受注残判断は前月比やや悪化
- 所得収支が1年ぶりの赤字となり、5月の経常収支は89億ユーロに減少。外国からの対ユーロ圏証券投資は、債券投資が大幅な買い越しに転じ、07年6月以来の買い越し額を記録



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 5月の輸出は前年比-6.8%、輸入は同-3.7%。輸出入ともに燃料の大幅な減少が続く。工業製品は輸出では減少が続くが、輸入では4か月ぶりのプラス成長に転じた
- 国別輸出動向を見ると、先進国向けの前年比マイナスが続く。中国及び東欧向けは加速。ロシア向けは減少幅の縮小が続くも、前年割れは続く
- 14年Q1の経常収支赤字は185億ポンドに縮小。外国からの対英証券投資は、2四半期連続で株式投資の売り越し、債券投資の買い越しとなった



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成